

(様式)

経 営 改 善 計 画 書

令和 4 年 4 月 1 日 ~ 令和 7 年 3 月 31 日

法人名 住 所 由利本荘市矢島町城内字花立 60

名 称 株式会社鳥海高原ユースパーク

代表者名 大井 仁史

1. 会社の沿革

名 称	株式会社鳥海高原ユースパーク			電話番号		(0184) 55-2929	
設立年月日	平成 4 年 5 月 29 日			メールアドレス		yp552929@youthpark.jp	
資本金	60,000 千円		市出資金	50,250 千円	市出資割合	83.8%	
役員数	取締役	8 名	監査役	2 名	株主総数	39 名	
従業員数	正社員	8 名	嘱託社員	0 名	パート社員等	6 名	
事業内容	1.宿泊施設（貸別荘）の経営 2.飲食、喫茶店の経営 3.ジャージー乳製品の製造並びに販売 3.前各号に付帯関連する一切の事業						

2. 組織図

(別 紙－１)

3. 財務諸表

(ア) 貸借対照表

(千円)

項 目	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	年度
総資産	31,208	32,743	34,000	35,000	
（うち現金預金）	4,055	5,036	7,000	7,500	
総負債	32,928	35,575	32,000	31,000	
（うち借入金）	27,200	30,000	27,000	25,500	
純資産	△1,720	△2,831	2,000	4,000	
（うち利益剰余金）	△61,720	△62,831	△61,278	△59,576	

(イ) 損益計算書

(千円)

項 目	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	年度
売上高	71,480	72,422	80,000	83,000	
販売管理費	35,098	34,525	38,277	39,167	
（うち人件費）	17,863	17,195	18,721	19,247	
（指定管理料）	6,563	7,321	7,613	7,613	
経常損益	△626	△927	1,292	1,896	
当期損益	△810	△1,111	1,098	1,702	

※詳細は（別紙資料－2）

4. 経営改善にあたっての基本方針

・営業基盤の強化

由利本荘市全域へジャージー乳製品の学校給食への供給拡大及び安定化を目指す。
営業体制を見直し安定的な販売基盤となる宅配牛乳の販売強化を図る。

- ・製造体制を見直し
安全衛生管理の見直し強化を図る
日産 3000 本体制を整備し、生産性向上による生産原価の低減を図る
- ・ネット販売による新規顧客の拡大（コテージのネット予約システムの構築）

5. 計画期間

令和 4 年 4 月 1 日 ～ 7 年 3 月 31 日

6. 経営目標

目標売上高	令和 4 年度 4.6%、令和 5 年度 7.0%、令和 6 年度 3.8%、最終年度には売上額を 83,000 千円とする。
目標経常利益	徹底した経費削減を図り、最終年度の経常損益計画を 1,896 千円に設定とする。
人件費等経常経費の削減	社長は本計画終了まで無給とし、参事・支配人の退職に伴う補充は行わずに管理部門の人件費削減を行う。
累積損失の解消	大きな累積損失を抱えており、短期での解消は困難な状況にあります。売上高重視から利益金確保に重点を置き早期の解消にむけて今後とも利益確保に努めて参ります。
そ の 他	・経営悪化状態の解消時期については、令和 5 年度以降当期利益を 1,000 千円を目指し、累積赤字の減少を目指していきます。 ・敷貸化しております貸付については、令和 6 年度から当期利益の半額を目途に返済を目指します。

7. 改善計画の具体的施策

（ア）経営の現状（問題点）と改善計画

項 目	現 状 （問 題 点）	改 善 計 画
事業効果の薄れたもの、不採算部門の整理統合	観光関連の不採算部門から撤退し、乳製品製造販売を中心とした経営形態にシフトしたものの、依然として経営改善が図られていない。	事業効果の薄れた部門は整理済であるため、現状の部門で収益確保に努める。
指定管理料に頼ることのない自立経営	消費税等の特殊要因を除き、指定管理料は平成 19 年から据置きとなっているが、人件費(最低賃金引上)等経費の上昇があるため、実質的にはマイナスになっている。	現在の設備を最大限に活用し、ボトルネックになっている加熱殺菌タンクの増強により、生産性の向上を計る。
内部評価等事務事業の見直し	人員配置を最小にしており、従業員は兼職兼務での就労状況にある。	経費削減の削減だけでなく生産性の向上を計り、経営を改善する。

組織形態の見直し、 従業員の適正配置	人員削減は実施済み。	各業務に必要な人員数やスキルを把握し、従業員の能力にあった効率的人員配置を行う。
職務権限、責任の明確化	毎週1回の社員会議を開催し、責任の明確化を図っている。	個々の役割を意識し、責任をもって業務を遂行する。
人事・給与制度の見直し	年1回の定期昇給を行っているが一般的に給与が低い。	成果主義の導入を図りながら待遇改善を図りたい。
職員研修の実施	保健所等、食品衛生講習会への参加。	講習会への積極的な参加。
移動販売車（ミルジー号） での収益確保	市より貸与の移動販売車を自損事故により破損させ、現在は走行不能な状況となっている。このため令和4年度は移動販売を行うことができない。	市の方針に従い車両の損害賠償を行ったうえで、弊社で新たな移動販売車をリースし、今後の収益確保に努める。
情報公開の推進	会社ホームページ、SNS等の公開。	ホームページ、SNSにより情報発信の強化を行い、ネット販売を推進する。

（イ）点検評価による現状（問題点）と改善計画

項 目	現 状（問 題 点）	改 善 計 画
収 益 性	原材料、包材、光熱水費等の値上がりによる高騰は収益性を大きく圧迫している。	値上がり部分を考慮して10%～15%を商品価格へ転化していく。
健 全 性	現在は債務超過となっており健全性について大きな問題が生じている。	多額な累積を短期に解消する手段は見受けられず経営改善計画書に示した施策を実行しながら改善に努めていく。
成 長 性	HACCP 認証工場として安心安全な製品作りが保証され、また新商品の開発など新規取引先の開発が期待できる。	地域特産品のジャージー乳製品のこだわりをもち、他社製品との差別化を図りながら広くPRしていきジャージーブランドを確立していく。
効 率 性	生鮮商品のため、消費期限・賞味期限が短い。	コスト単価が見合う取引先の選定。

所 管 課

意 見	
改善指示事項	

行政改革推進本部

意 見	
改善指示事項	